

平成26年度、毛呂山町は合併60周年をむかえます

The Public Relations Magazine

もろやま

12

No.891

OROYAMA 平成26年12月1日号(2014年)

特集

すまいる あつと

いづもいわい やぶさめ

わだいの特選 (いづもいわい やぶさめ 出雲伊波比神社の流鏝馬ほか)

歴史散歩 (のほり 流鏝馬を盛り上げる大きな幟)

ほぐらのキャンパス (川角小学校)

表紙8「出雲伊波比神社の流鏝馬」



特集

すまいる あっと



～いつまでも自分らしく生きていくために～



撮影協力：あったかホーム毛呂山

あなたは、認知症と聞いてどのようなイメージを持ちますか。「出かけて家に帰れなくなってしまう」「ご飯を食べたのを忘れてしまう」。認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。時、場所、人などの理解が難しくなり、例えば家に帰れないのではなく、若いころ住んでいた家を探しているなど、今の時間ではなく過去の時間を過ごしているのです。本人は、目的をもって出かけていることを周囲の人には理解してもらえず、不安を感じています。

全国の認知症高齢者数は平成24年時点で約462万人と推計されています。また、認知症の予備軍も400万人と推計されており、予備軍を含めると65歳以上の4人に1人の割合となります。今、認知症は私たちにとって、より身近な病気となってきたのです。

しかし、認知症になっても早く発見し治療することや、周囲の理解気遣いがあれば、住み慣れた地域で暮らしていくこともできます。「いつまでも自分らしく生きたい」とは、誰もが願うことです。この特集をひとつのきっかけとして、皆さんも認知症について、一緒に考えてみませんか。

認知症とは

脳は、私たちのほとんどの活動をコントロールしている器官です。それがうまく働かなければ、精神活動も身体活動もスムーズに運ばなくなります。

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために様々な障害が起こり、生活するうえで支障が出てくる状態を指します。

認知症を引き起こす病気のうち、最も多いのは、脳の神経細胞がゆっくりと死んでいく変性疾患と呼ばれる病気です。アルツハイマー病、前頭・側頭型認知症、レビー小体病などがこの変性疾患にあたります。続いて多いのが、脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などのために、神経の細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなり、結果、その部分の神経細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れてしまう脳血管性認知症です。

認知症の症状

脳の細胞が壊れることによって直接起こる症状が、記憶障害や見当識障害、理解・判断力の低下、実行機能の低下などの、中核症状と呼ばれ

るものです。これらの中核症状により、周囲で起こっている現実を正しく認識できなくなります。

また、本人がもともと持っている性格や環境、人間関係など様々な要因が絡み合っており、うつ状態や妄想のような精神症状や、日常生活への適応を困難にする行動上の問題が起こってきます。これらを行動・心理症状と呼ぶことがあります。

このほか、認知症にはその原因となる病気によって多少の違いはあるものの、様々な身体的な症状も出てきます。特に血管性認知症の一部では、早い時期から麻痺などの身体症状が合併することがあります。

もの忘れとは違う

歳をとると誰でも忘れっぽくなりますが、例えば食べたメニューを思



社会福祉法人毛呂病院
認知症患者医療センター
相談員 福島 雄大 さん

い出せないのは、単なるもの忘れです。しかし、もし食べたこと自体を覚えていなければ、認知症の疑いがあります。また、単なるもの忘れのほか、気分が落ち込むうつ状態、意識障害（せん妄）、病氣治療のために飲んでいるお薬による影響でも似た症状がみられます。

まずは理解することから

認知症は、誰にでも起こりうる病気です。しかし認知症は、早期発見で治療ができる場合や、家族や周りの対応で、その進行を遅らせることもできます。もし、認知症になったとしても自分らしく生きていくことはできるのです。まずは、しっかりと認知症のことを理解することから始めましょう。

こんな症状はありませんか？
チェックしてみてください！

- 物忘れが目立つようになった
- 何度も同じことを話す・聞く
- 置き忘れやしまい忘れが増えた
- 今までできていたことができなくなった
- 言葉や単語がすぐに出てこない
- 簡単な計算に手間取ってしまう
- 些細なことで怒りっぽくなった
- 何をすることも意欲がなくなった
- 外出する機会が極端に減った
- 昼間も横になっていることが多くなった
- 好きだったことに興味を示さなくなった

※チェックの数が多いほど、認知症が心配されます。早めのご相談をお勧めします。

認知症を理解する

認知症ケアパスの作成

認知症ケアパスとは、認知症の人がいつ、どのようなサービスが利用できるのか、認知症の対策を町はどのようにしていくのかを皆さんに示すものです。

認知症ケアパスは、厚生労働省が策定した「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」に基づき作成されます。現在、認知症の人が地域で生活していくために、認知症のケアの流れを変えるきっかけとなるものと考え、作成に取り組んでいます。また、ケアパスに基づき、町の認知症施策にも取り組みます。

オレンジプランの概要

- 1 標準的な認知症ケアパスの作成
・普及
- 2 早期診断・早期対応
- 3 地域での生活を支える医療サービス
の構築
- 4 地域での生活を支える介護サービス
の構築
- 5 地域での日常生活・家族の支援
の強化
- 6 若年性認知症施策の強化
- 7 医療・介護サービスを担う人材
の育成

支えるための仕組み作り

認知症の人と家族が暮らしやすいように

現 在、地域包括支援センターやケアマネジャー、グループホームの専門職の皆さんとともに

「認知症ケアパス作成委員会」において、認知症ケアパスの作成に取り組んでいます。委員会では、町の認知症高齢者がどのようなサービスを利用しているのかなどを調べ、町にある社会資源を抽出し、対象となる人たちが、地域でより暮らしやすくなるように検討しています。

委 員会において、日ごろの職場を超えて話ができただことは、

町の認知症施策を考えていくなかで、貴重な一歩を踏み出したのではないかと感じています。例えば、一人暮らしの認知症の人の場合、「この人は何が好きなのか」、「本当は何をしたいのか」など、すでに本人から聞くことができないことに、いかに対応していくのか。認知症の人が「生活しやすい環境」とは、「生きやすい社会」とはどういうことなのかなどを話し合う機会が得られたことです。これら話し合いの内容を、今後の認知症ケアパス作成に活かしていきたいと考えています。



埼玉医科大学
訪問看護ステーション
管理者 福田 祐子 さん

認 知症の人の介護は、その家族が頑張っているケースが多く見受けられます。認知症ケアパスを作成することは、それだけでも認知症の人を介護している家族にとって、大きな意味があるものだと感じています。実際に「町が認知症のことを考えている」ということをその家族が知ることで、自分たちだけの問題ではないという安心感に繋がるものと考えます。認知症の介護は、家族だけが背負い込むのではなく、町や地域が支えになることを認知症ケアパスによって、皆さんに知っていただくきっかけになればと思います。

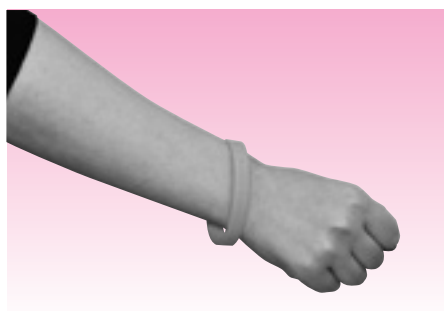
今 後は、関係機関や町と更に緊密な連携をとりながら、認知症の人や家族が地域で暮らしやすいように、地域全体で支えていくためのさまざまなシステムを築き上げていきたいと考えています。



調剤薬局での「認知症サポーター養成講座」

認知症サポーター キャラバン

厚生労働省は「認知症を知り地域をつくるキャンペーン」の一環として「認知症サポーターキャラバン」を実施しています。「認知症サポーターキャラバン」は、「認知症サポーター」を全国で養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちになることを目指しています。「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者であるとともに、地域や職場で認知症の人や家族



オレンジリング

に対して、できる範囲での手助けをする人です。受講修了者にはオレンジリングが与えられ、「認知症サポーター」として認められます。

毛呂山町の取組

毛呂山町では、地域包括支援センターや認知症疾患医療センターで認知症サポーター養成講座を実施しています。住民向けの講座のほか、自治会や企業などでも講座を実施しており、受講者は、すでに地域や職場でサポーターとして活躍しています。受講については、地域包括支援センターへお問い合わせください。

地域と医療機関との 架け橋として

認 知症の人と共に暮らす家族は、24時間常に本人を気にかける必要はありません。また、「物がなくなつたのはあなたのせい」などと責められ、病气だとわかつていてもイライラしてしまうことがあります。しかし、このような現状のなかでも「近所の人が話を聞いてくれるので、介護は大変だけれど何とか頑張れる」と話すご家族もいます。

一方、核家族化が進み、認知症の人が一人暮らしをしている例も多々みられるようになっています。また、ご家族が遠方であったり、疎遠であるために家族の支援が得られない人もいます。そういった一人暮らしの認知症の人でも、地域の人に病気を理解してもらい、定期的な見守りやゴミ出し支援などのサポートを受けながら、自宅での生活を続けている人もいます。

のように、認知症の人が在宅で生活するためには、家族や地域の理解が必要です。地域包括支援センターでは、認知症の症状で日ごろ困っていることや受診について

の相談、医療機関への紹介、在宅生活を続けるために必要な制度や社会資源の紹介などを行っています。

毛 呂山町でも、より多くの人に認知症についての理解を深めサポートしていただくために「認知症サポーター養成講座」を認知症患者医療センターと共に開催しています。今後、子どもたちにも認知症の理解を広めるため、小中学生を対象に講座を開催したいと考えています。そして更に、町内の関係機関と連携し、認知症の人やそのご家族が専門職による相談を受ける機会を確保するだけでなく、気軽に相談できる場や集える場を提供できるように考えています。

地 域包括支援センターでは、これからも皆さんが安心して住み慣れた地域で暮らしていけるように、様々な活動をしていきたいと思っています。



毛呂山町地域
包括支援センター
保健師 村田 早苗 さん

《ケース1》 住み慣れた我が家で

Aさん(89)に認知症の症状が出始めたのが、およそ2年前。Aさんの娘で現在一緒に生活をしているBさん(66)がその時のことを話してくれました。「その日は急に物忘れが目立って、いつもと様子が違うことがすぐにわかりました。連れ添って、病院に行くと『脳梗塞の跡がある』とのことでした。すぐに入院したのですが、入院後、再度脳梗塞を発症しました。その後は、表情や仕草が別人のようになってしまっ、とても驚きました」。

それからAさんは、施設に入所し、治療トリハビリを続け、付き添いがあれば歩けるまでになりました。ただ、認知症により、伝えたいことをうまく表現できず、コミュニケーションが難しくなっていました。家族も一緒に暮らすことは難しいと考えていました。しかし現在、Aさんは家族に囲まれて生活をしています。「とりあえず1か月自宅で頑張ろう」と思い、施設を退所しました。家に戻ったころは、環境が変わって、パニックになったこともありましたが、たくさん話しかけて、コミュニ

ケーションをとるようにしていたら、少しずつ落ち着いて、表情も柔らくなっていき、気づいたら、家に戻って1年以上経っていました。今は、よく笑うようになったんですよ」とBさんは話します。

Aさんが現在、認知症であっても自宅で穏やかに生活続けることができているのは、Bさんを含む家族の支えが大きいと考えられます。Aさんを担当するケアマネジャーも「ご家族が本人の気持ちに寄り添って生活してくれることが、Aさんにとってよい環境になっている」と言います。それについてBさんは「特別に頑張って介護しているなんて思いませんよ。ただ、何を言いたいんだらうとか、何がしたいんだらうとかはよく考えます。あと洗濯



Aさん(左)はデイケアサービスを週3回とショートステイを利用しながら、自宅で生活をしている。この日は、来所したBさん(右)と一緒に担当するケアマネジャーと最近の様子などについて話した。

生きていく

物を畳んでくれたりとか、よく家の事も手伝ってくれるんです。できることをしてもらっただけでこちらも助かるし、家の役に立ったことを、本当に喜んでくれるんです」と嬉しそうに話してくれました。話を聞いていると、Bさんはとても自然に、Aさんに接していることがうかがえます。ケアマネジャーも「Aさんのことは、地域の人たちもよく理解してくれているようですし、Bさんも介護保険のサービスを活用して、自分の生活とうまくバランスをとっていることも、いい要因だと思います」と感心している様子でした。

Bさんに、介護で心がけていることを聞くと「特に心がけていることはないのですが、あえて言えば『笑わせるように』しています」と答えてくれました。Bさんは介護について、「自分も楽しむようにしている」といいます。Aさんができたこと、できないことに一緒に一喜一憂しているそうです。

Bさんの話のなかで「今、自分がしていることは、いつか自分が同じようになったとき、どうなるのかということをお勉強させてもらっているのだと考えています」と言っていたことがとても印象に残りました。



現在、グループホームで生活するCさん。グループホームでの生活に慣れた様子で、他の入所者とも楽しそうに会話をしていた。

《ケース2》 ホームで皆と共に

Cさん（71）はひとり暮らしでした。昨年の夏、なくし物が多くなったCさんを心配し、妹のDさん（69）と病院を受診したところ、アルツハイマー型認知症であると診断されました。Dさんは、Cさんの家から5キロメートルほど離れた所にご主人、息子家族と住んでいます。

その後、Cさんは、頻繁にひとり歩いてDさんの家まで行き、物がなくなったといつては、DさんやDさんのご主人を疑うようになりました。「物がなくなつたと疑われた時、姉はよく私や夫と言ひ合いをしました。病気なんだからと頭では理解していたのですが、分かつてもらえな

いとい言返してしまふんです。でもそれ以上に、私の家まで歩いてくることが心配でした」とDさんは当時の事を話してくれました。

悩んだDさんは、地域包括支援センターと相談し、Cさんにデイサービスの利用を勧めました。それからDさんはご主人にも協力してもらい、Cさんの家に毎日のように通い、食事から身支度まで身の回りのすべてを手伝うようになりました。「バイクで毎日通っていましたが、当時は必死だったので、暑い寒いなんてことは思いませんでした」とDさんは振り返ります。しかしその後、CさんはDさんの帰宅後、Dさんを追いかけ、Dさんの家まで歩いて来ってしまうようになりました。それも暑い日でも、冬の服装で来ることさえ

ありました。

ふたりのことを心配した地域包括支援センターは、Cさんのグループホームへの入所を提案しました。「姉を見ず知らずの人ばかりの施設へ、ひとりで入所させることは、それが姉のためだと分かつていても、なかなか決断ができなくて…」とDさんは当時の苦しい胸の内を話してくれました。

Cさんが入所して、半年経ちまし

自分らしく

た。入所後、Dさんは成年後見人になり、様々な手続きをしています。が、「いつか私に手続きができなくなる時が来ると思っています。子どもたちにも今から姉の今後のことについて話し、協力してもらっています」と話します。また、「今、姉が安心して暮らしているのを見るとこれだよかつたんだと思います。たまに夫と一緒に姉を外食に連れて行くのですが、とても楽しそうにしてくれ、姉と過ごす時間は私にとっても大切な時間になっています」とDさんは笑顔で話してくれました。

「認知症の人の介護は、経験した人でないと本当の大変さは分からないと思います。今、認知症のことが社会でクローズアップされていますが、自分の身にふりかかってくるなんて考えたこともありませんでした。認知症の介護は、家族だけでなく地域や、介護保険サービスなど多くの皆さんの協力が必要だと強く感じています。認知症は、決して他人事ではありません。だから、ひとりでも多くの人に理解してもらいたいと思っています。困ったときは気軽に地域包括支援センターに相談することを勧めます」とDさんは語ってくれました。

地域で支える必要性

皆さんの身近な相談相手

「もしかしたら認知症かもしれない。でも、いきなり医療機関や役場には行きにくい」。この様な場合、誰に話せばいいのでしょうか。

こういった時に一声かけていただきたいのが、各地域にいる民生委員です。民生委員は、地域の皆さんの福祉に関する相談相手として、また、行政や専門機関とのパイプ役として、厚生労働大臣の委嘱を受けた人たちです。ご相談いただければ、役場の担当部署や医療機関を紹介できます。

認知症の人や家族が穏やかに生活するには

高齢化社会になり、認知症になる人も増えています。認知症になっても住み慣れた地域で暮らしたいと思う人は多いと思いますが、認知症の人やその家族は、様々な理由で、つい自宅に引きこもりがちになってしまいます。しかし認知症の人やその家族が、穏やかに生活をしていくためには地域との繋がりは欠かせません。その繋がりを続けていくためにも、ひとりで悩まないで、民生委員と話してみてください。

人と人をつなぐ キーパーソンとして

毛

呂山町民生委員・児童委員協議会は、各地域で主に福祉に関する相談相手として活動しています。認知症の場合、まず本人がその事実を受け止められないことが多い、その症状が軽度であるほど、ご家族から相談を受けるケースが少ないです。そのため、発症して、家族も介護に疲れたところに相談を受けるケースが多くなっています。もっと早いうちに、適切なアドバイスが行えたのではと感じることも多くあります。認知症になった人やその家族が地域で暮らしていくためには、早めの対応が必要となるのです。

そ

のようなか、今年の4月から社会福祉協議会ではじめた「福祉サポーター」の協力は欠かせません。福祉サポーターは、各地域で福祉に関する事で気づいたことや気になったことを私たち民生委員や区長に伝えてくれる役を担っています。福祉サポーターの気づきで、早めの相談ができた人もいます。

ま

た、週1回から2回行われる配食サービスの利用でも、地域の人と話す機会が得られています。

す。週に1回でも顔を見られるだけで、その人の状況を知ることができるので安心できます。

近

年、地域内での人の繋がりが希薄になっていくといわれます。また、核家族や単身世帯など様々な理由で、隣近所との付き合いがなかなかできない人も増えているようです。私たちは、このような時だからこそ、人との繋がりが重要であると考えています。高齢化が進む近年、地域における人と人とのコミュニケーションがより大切になっていくと感じています。私たち民生委員は、こうしたコミュニケーションを図るためのキーパーソンになりたいと思っています。



落合 紘一 副会長



岡野 國明 会長



森澤 美智子 副会長

コミュニケーションを図るためのキーパーソンになりたいと思っています。私たちにもっと気軽に話しかけていただきたいと思います。

早期発見の重要性



毛呂病院認知症疾患医療センター
(毛呂本郷 38 / 埼玉医科大学病院同一敷地内)

地域のサポートと 早期発見・早期治療

認知症は、誰でも発症する可能性がある病気です。また、患者さんも、年々増加傾向にあります。そのために、ひとりでも多くの人がその症状や患者さんに対する対応の仕方を学ぶ必要があります。

認知症になると、物を理解する能力が低下してしまいますが、その人の尊厳が失われてしまうわけではありません。接し方を間違えると、患者さん自身を傷つけてしまうこともあります。また家族にしても、介護などで過度のストレスを感じている人も少なくありません。

その様な患者さんや家族の助けとなるもののひとつが、地域の人の理解と協力です。ひとりでも多くの人に、認知症に対して正しい知識を身につけてもらいたいと考えます。周囲の人が認知症の人に正しく接することにより、家族と患者さん本人の気持ちを穏やかにしてくれるのです。

認知症は日ごろの食生活を見直したり、(具体的には塩分の取りすぎや、食べ過ぎな

ど) 地域で行う体操教室や、趣味活動に積極的に参加することで、身体や脳に刺激を与え、予防することもできます。そして何よりも、認知症は早期発見と早期治療がとても重要になります。認知症は、早期治療をすることで進行を遅らせることができます。少しでも気になったら、まずはご相談ください。認知症疾患医療センターでは、認知症に関する診断、周辺症状や合併症への対応、専門医療相談を行っています。

私たちはこれからも、町と連携して、認知症を多くの人に理解していただき、認知症を他人事と考えず、お互いが支え合っていけるような体制づくりを、図っていきたいと考えています。



社会福祉法人毛呂病院副院長
認知症疾患医療センター長
岡島 宏明 医師

取材を終えて

認知症の取材にあたり、認知症が繊細な問題であることを再認識しました。日ごろ、認知症の人やその家族の人が抱えている悩みや苦労は、やはり本人やその家族ではないとわからないのが実状です。

しかし、ひとりひとりが、認知症のことを理解し、正しい知識を身につけるための一歩を踏み出すことが、認知症の人やその家族を支えることに繋がっていくと思います。

「すまいる あつと」…。誰かが誰かに微笑みかけることで、笑顔の輪が広がっていけば、少しずつかもしれませんが、笑顔になる人が増えていくのではないのでしょうか。「いつまでも自分らしく生きたい」とは、誰もが願うことです。そのためには人と人が支え合い、理解し合うことが必要だと実感しました。この特集がひとつのきっかけになり笑顔の輪が広がれば、幸いに思います。

《参考資料》

「認知症を学び地域で支えよう」全国キャラバン・メイト連絡協議会、「認知症ひとりで悩まず地域とともに」認知症の人と家族の会、「認知症のお年寄りへの対応」新井平伊

【認知症についての問合せ】

毛呂病院認知症疾患医療センター ☎ 276-1486
毛呂山町地域包括支援センター ☎ 295-2112 内線156

華 いずもいわい やぶさめ
『出雲伊波比神社の流鎧馬』
麗で勇壮な馬上芸を披露!



11月3日、出雲伊波比神社で流鎧馬が奉納されました。秋の流鎧馬は、15歳前後の少年が乗り子になり様ざまな馬上芸を披露します。矢的では、矢が的に当たる度に観客から大きな歓声と拍手が起こりました。

各祭礼区・今年の乗り子

一の馬	稲垣結平くん(毛呂本郷)
二の馬	平野竜雅くん(長瀬二区)
三の馬	田島碧斗くん(大師二区)

地 『獅子舞』の奉納
地域の安寧、五穀豊穡を祈願して

10月12日に滝ノ入、葛貫、大類の各地区で、19日に川角地区で獅子舞が奉納されました。奉納される獅子舞は、各地区で異なり、カメラを片手に写真を撮る人や真剣に見入る人などで賑わいをみせていました。



大類地区(十社神社)



滝ノ入地区(住吉神社)



葛貫地区(住吉四所神社)



川角地区(川角八幡神社)

今 『菊花展覧会』
年も見事に咲かせました

11月2~4日、ウィズもろやま駐車場で、「菊花展覧会」が開催されました。今年も丹精込めて作られた大輪の菊が会場を盛り立てていました。



有 『名球会メモリアルカップ毛呂山少年野球大会』
名選手の指導に感激



11月2・9日、「名球会メモリアルカップ毛呂山少年野球大会」が開催されました。2日には松原誠さんとA.ラミスさんを迎え野球指導が行われました。

秋

『奥武蔵もろやま「仰天」ハーフマラソン』 の奥武蔵で健脚を競う

10月26日、鎌北湖周辺で「奥武蔵もろやま「仰天」ハーフマラソン」が行われました。今年からハーフマラソンの部が加わり、約1,200人の参加者が奥武蔵路に挑みました。



健

『国保いきいきウォーク』 康のために歩け歩け



10月18日、箕和田湖周辺で「国保いきいきウォーク」が行われました。秋晴れのこの日、参加者たちは約12kmの道のりを完歩し、心地よい汗をかきました。

永

『八高線全線開通80周年記念式典』 い歴史に感謝を込めて

今年で全線開通80周年を迎えたJR八高線。それを記念して、10月18日、毛呂駅で式典が行われ、大勢の人が見守るなか記念列車が走りました。



切

『図書館祭り』 り絵の紙芝居を初公開



10月19日、「図書館祭り」が開催されました。恒例の本のリサイクルのほか、手作りの切り絵紙芝居の上演などが行われ、多くの人で賑わいました。

一

福島県浪江町訪問 日も早い復興を願います

10月10日、東日本大震災復興支援プロジェクト委員会が浪江町役場二本松事務所を訪れ、馬場有町長に義援金を手渡しました。また同日、浪江町の現状を視察しました。



秋

『滝ノ入ローズガーデン』秋の開園 バラが可憐に咲き誇りました



10月24日から11月5日まで、滝ノ入ローズガーデンで秋の開園が行われました。来園者は、春のバラとは違った秋バラの香りを楽しんでいました。



目どりの近所付き合いが身を守る!! 育てよう地域の力「自主防災組織」

住民同士のコミュニケーションを大切に

第六団地区自主防災・防犯組織の会

第六団地では、10月8日を独自に防災の日と定め、防災訓練を行っている。

そのことについて第六団地区自主防災・防犯組織の会の栗原会長は「8年前、第六団地内で火災が発生しましたが、火災の発生は夜中だったので、消防車所の人たちが協力して、消防車が到着する前に効果ある初期消火ができました。しかし、いつ何時にこの様な事態になっても対処できるように、また、過去に火災があったことを忘れないように10月8日を防災の日と定め、皆さんで訓練をしています」と言う。

第六団地の防災訓練は、実に実践的である。毎年、疑似の火災発生場所を定めて、情報の伝達から始め、ホース4本の連結や態勢作り、時には実際に水を出しての訓練も行っている。

また、第六団地では、住民同士のコミュニケーションを、とても大切にしているという。「皆さ

んで月に2・3回、団地内外のパトロールを行っているのですが、終わった後、その日の反省会として集会所などで、お茶を飲んだり、おしゃべりをする時間をとっています。それが楽しみで参加してくれる人もいますのでよ」と栗原会長は語ってくれた。

第六団地では、普段からの付き合いを大切にすることで、団地内の結束を高め、万一の時も連携して対応できる地域づくりを行っている。



毎年10月8日に行われる防災訓練の様子

流鏝馬を盛り上げる大きな幟 第247回 ～長瀬の旗立て～

今年も11月3日に伝統の流鏝馬祭りが行われました。流鏝馬は本番を迎えるまでの間、その年流鏝馬の奉納を担当する地区や、11月1日から祭りの拠点となる的宿(本陣)で様々な行事が行われています。

普段静かな佇まいの出雲伊波比神社境内を祭りの雰囲気に変させるのは、参道に立てられる大きな幟旗でしょう。幟旗は神様が訪れたことを表す飾りで、その天辺に神様が降りるための「依代」の意味がある櫛の葉が付けられています。

では、この幟は、いつ誰によって立てられているのでしょうか。

「禾穀豊穰(穀類が実り豊かであるように)」「不穀豊穰(穀類が実り豊かであるように) 長瀬 池田 前組 中組 後組氏子」と刻まれています。この「旗立て」は、95年を経た現在でも長瀬一区、二区の輪番の氏子たちが行っています。氏子たちは、11月2日のまだ薄暗い早朝5時ごろから集まり、旗を立てます。

幟旗は「鎮守 御祭礼 明治二十三年十月 海舟勝安芳」と「鎮守 御祭礼 長瀬氏子中」の一対からなり、幕末から明治維新に活躍した勝海舟が、長瀬氏子中の求めに応じて書いたとされています。現在使用されている幟は複製で、原資料は町の指定文化財に指定されています。

騎射が中心の流鏝馬ですが、様々な人が関わりながら舞台が整えられていることが、秋空に翻る大きな幟旗からもよく判ります。



出雲伊波比神社の勝海舟幟旗

参道脇の石製の幟柱には、「大正八年二月竣工 宇内静謐(世

町税の滞納処分を積極的に実施しています

町は、皆さんに納めていただいた税金で、安心・安全なまちづくりを行っています。町税は、皆さんの生活に欠かすことのできない公共サービスや、公共施設の維持管理などに充てる重要な財源です。町税を納めることができるにもかかわらず、納付していただけない場合には、財産の差押えなど滞納処分を実施します。納期限内の納税にご協力をお願いします。

滞納処分を強化しています！

毛呂山町では、町税や国民健康保険税を滞納している人に、督促状や催告書を送付したり、電話催告を行ったりして納税をお願いしています。

しかし、納めることができるにもかかわらず納税に応じない場合には、納期限内に納めている人との公平性を確保するため、差押えなどの滞納処分を強化しています。

■近年の差押え件数

平成 25 年度	220 件
平成 24 年度	280 件

■公売および換価

平成 25 年度	32,729,877 円
平成 24 年度	39,074,826 円

今後も納税の公平を確保するため、給与、預貯金、不動産、自動車などの差押えや、差押えた物件の公売などを実施して行きます。

給与の差押えを実施しています！

毛呂山町では、滞納者の勤務先を調査・訪問するなどして、給与の差押えを実施しています。なお、差押えの対象となるのは、支給される給与の全額ではなく、生活費などを除いた額と法律で定められています。

平成 25 年度は、年金と給与の差押えを 35 件実施しました。

不動産・預貯金の差押えを実施しています！

町税や国民健康保険税には、それぞれ納期限が定められています。

納期限を 1 日過ぎれば滞納です。納期限までに納付せず完納の見込みがない場合は、不動産や預貯金の差押えを行っています。

■近年の不動産差押え件数

平成 25 年度	29 件
平成 24 年度	22 件

■近年の預貯金差押え件数

平成 25 年度	30 件
平成 24 年度	44 件

埼玉県と協力しています！

毛呂山町では、埼玉県と協力して文書による催告や滞納処分、捜索などを行っています。また、町県民税の滞納額が高額となった人については、埼玉県が直接、調査や滞納処分を行うこともあります。

納税相談のご案内

納めるべき額が、2 年分、3 年分、と累積してしまうと、一度に解消することが大変困難になってきます。早期にご相談ください。

問合せ 役場税務課納税係 ☎ (295)2112 内線 193・194

ストップ！ 滞納

滞納整理強化期間

平成 26 年 11 月～平成 27 年 1 月

県税・市町村税は、教育、福祉、医療などさまざまな分野のサービスや環境をより良くするための大切な「源」となっています。埼玉県では、皆さんの生活を向上させるため、税収確保に全力で取り組んでいます。

税金の滞納は、期限内に納税している人との公平を欠くものです。滞納整理強化期間に県と県内全市町村が協力し、滞納整理を集中的に行います。

インフォメーション

毛呂山町役場

☎ (295) 2112

FAX (295) 0771

HP <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

公共施設電話案内

■ 図書館	☎ (295) 1015
■ 中央公民館	☎ (294) 1250
■ 東公民館	☎ (295) 2277
■ 歴史民俗資料館	☎ (295) 8282
■ 総合公園体育館	☎ (294) 7179
■ 保健センター	☎ (294) 5511
■ ウィズもろやま、社会福祉協議会	☎ (295) 3111 FAX (295) 7258

日……日時	場……場所
定……定員	対……対象者
料……料金・費用	
申……申込み	問……問合せ先
☎……電話番号	FAX……ファクス番号
E……電子メールアドレス	
HP……ホームページアドレス	

電子申請用QRコード



毎月末の日曜日は納税相談
納入窓口を開設しています

税金

休日納税相談窓口 12月21日(日)
午前9時～午後3時
場・問 税務課納税係 ☎内線 193・194

介護保険料・後期高齢者医療保険料

休日納入窓口 12月21日(日)
午前9時～午後3時

内容 保険料の納入、口座振替の申込み
(通帳と銀行届出印が必要)、納入相談

場・問 高齢者支援課保険係 ☎内線 158・159

お知らせ

事業用の資産を持つ人は申告をお願いします

事業用の資産(償却資産)は、固定資産税の課税対象です。所有者は、平成27年1月1日現在の状況を申告する必要があります。資産の増減にかかわらず、必ず申告をお願いします。

申告期限 平成27年2月2日(月)

場 役場税務課資産税課係

※すでに今年度分の申告をした人には、申告書を郵送しますので期限内に提出してください。

償却資産とは

工場・商店などを営んでいる人が所有し、事業のために用いることができる資産で、所得の計算上、損金または経費に算入されるもの

償却資産の例

構築物(舗装道路、塀、看板など)、機械および装置(旋盤、工作機械など)、船舶(海・水上運搬具など)、自動車税・軽自動車税が課税されていない車両および運搬具(フルドザーなど)、工具・器具および備品(冷暖房設備、自動販売機、陳列ケース、ロッカーなど)

※詳しくは次にお問い合わせください。

問 役場税務課資産税課係

☎内線 191、192

初診はかかりつけ医で!

厚生労働省では、初期の治療はかかりつけの医院・診療所で、高度・専門の医療は200床以上の病院で行うことを推進しています。そのため、200床以上の病院は紹介状を持たない初診の患者から3千円〜5千円程度の「初診時保険外併用療養費」を徴収する制度を定めています。これらはすべて自己負担となります。かかりつけ医を持つことをお勧めします。

問 役場住民課国保年金係

☎内線 127・128

「ご存知ですか?」

「学生納付特例制度」

20歳以上の人は国民年金に加入し、保険料を納めることになっていますが、学生で、本人の所得が一定額以下の場合、納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。
承認期間 4月(または20歳を迎えた月)〜翌年3月まで
手続きに必要なもの 平成26年度の学生証(コピーの場合両面)、年金手帳、印鑑、前年に所得がある人は源泉徴収票や確定申告書の写し

※次年度も在学予定の場合は4月ごろに日本年金機構から

送られる用紙に記入し返送することで再申請ができます。

申請を行わず、保険料を未納のままになると、障害年金などが受けられなくなる場合もありませんので、ご注意ください。

☎ 役場住民課国保年金係 ☎ 内線127・128

高齢者総合計画推進会議公開とパブリックコメントの実施

高齢者総合計画推進会議では、第6期毛呂山町高齢者総合計画策定の審議を行っています。この会議の傍聴、議事録を閲覧することができます。また、計画案のパブリックコメントを実施します。

【会議の傍聴】

☎ 12月25日(木)午後1時30分から
☎ 役場204会議室

※傍聴は、人数に限りがありますので、事前にお問い合わせください。

【議事録の閲覧】

☎ 役場1階高齢者支援課

【パブリックコメント】

実施期間 平成27年1月13日
☎ 2月3日迄

計画案の公表場所 役場1階
高齢者支援課および町ホームページ

意見書の提出

役場高齢者支援課高齢者福祉係へ郵送、持参、ファクスまたは、電子メール(☎ koureit@town.moyama.satama.jp)にて提出

☎ 役場高齢者支援課高齢者福祉係 ☎ 内線156

ご自宅で確定申告書を作成・印刷できます！

国税庁ホームページ(☎ http://www.nta.go.jp)「確定申告書等作成コーナー」で「書面提出」を選択し、確定申告書を作成・印刷すると、郵送などで税務署に提出できます。

操作に関する問合せ

☎ e-mail作成コーナーヘルプデスク ☎ 0570-0115
☎ 901/午前9時~午後5時(平成27年1月中旬~3月16日(月)は午後8時まで)

※土・日・祝日および12月29日(月)~平成27年1月3日(土)を除く

☎ 川越税務署 ☎ 23519411

防火ポスター

最優秀賞・優秀賞決定

西入間広域消防組合では、

管内の小学4年生を対象に、夏休み期間を利用して防火ポスターを募集しました。453点の応募作品のうち、毛呂山町からは左記の4人が入選しました。

優秀賞

麻原衣真さん(毛呂山小学校)、富田花凜さん(川角小学校)、弓田勝輝くん(光山小学校)、島田小夏さん(泉野小学校)

これらの作品は、西入間広域消防組合ホームページ(☎ http://www.t19nshiruma.jp)でご覧いただけます。

☎ 西入間広域消防組合消防本部予防課 ☎ 29510254

「農業委員会委員選挙人名簿登載申請書」の提出について

選挙管理委員会では、毎年1月1日を基準日として農業委員会委員選挙人名簿を作成しています。該当する人には申請書を郵送しますので、平成27年1月10日(出)までに農業委員会に提出してください。

なお、申請書が送付されない場合も、町内に住所を有し、平成27年3月31日現在20歳以上で次の①~③いずれかに該当する人は、申請を行うことができます。

- ① 10アール(1000平方メートル)以上の農地につき耕作の業務を営む人
- ② ①の農業者と同居する親族またはその配偶者で、年間おおむね60日以上耕作に従事している人
- ③ 10アール以上の農地を経営する農業生産法人の組合員、社員または株主で、年間おおむね60日以上耕作に従事している人

☎ 農業委員会事務局 ☎ 内線178

「広報もろやま」スマホ用アプリで配信中!!

スマートフォン用無料アプリケーション「i 広報紙」で、広報もろやまを配信しています。お手持ちの端末にアプリをダウンロードすると、いつでもどこでも広報紙をチェックできます。ぜひ、ご利用ください。



詳しくはこちら

☎ 役場秘書広報課広報広聴係 ☎ (295) 2112 内線 332

募集します

町立小・中学校の 臨時職員募集

【①学力向上支援員】
職務内容 小・中学校での授業支援
募集人員 14人程度
応募要件 小・中学校で、特に国語、算数・数学、英語の指導が可能な人(小学校教員免許、中学校教員免許所有者および取得見込者)
勤務日数 年間185日
勤務日時 月々金曜日(1日あたり7時間45分)
賃金 時給1300円(社会保険有り)
【②児童生徒支援員】
職務内容 小・中学校で授業をはじめ学校生活全般への支援(普通学級・特別支援学級での支援)
募集人員 16人程度
応募要件 児童・生徒の健全育成に対して、幅広い見識のある人
勤務日数 年間201日
勤務日時 月々金曜日(1日あたり5〜6時間)

賃金 時給840円
【③生徒指導推進員】
職務内容 中学校での生徒指導上の支援
募集人員 2人程度
応募要件 生徒指導(非行防止など)に対して、幅広い見識のある人(警察官経験者、教員経験者または教員免許所有者など)
勤務日数 年間185日
勤務日時 月々金曜日(1日あたり5時間)
賃金 時給1000円
【④不登校対策相談員】
職務内容 児童生徒との交流をとおして行う相談援助など
募集人員 (A)2人、(B)2人
応募要件 児童・生徒の健全育成、教育相談に対し、幅広い見識のある人
勤務日数 (A)年間210日、(B)年間100日
勤務日時 月々金曜日(1日あたり5時間)
賃金 時給1000円
【①〜④共通事項】
勤務期間 平成27年4月1日(水)から9月30日(水)まで
選考方法 面接および論文試験(400字程度)

【⑤学校用務員】
職務内容 学校における環境整備、給食配膳関係など
募集人員 6人
勤務日数 年間220日程度
勤務時間 月々金曜日午前9時〜午後2時45分(1日あたり5時間)(休憩有り)
賃金 時給840円
【⑥学校事務員】
職務内容 町費会計事務など
募集人員 6人
応募資格 パソコン操作(ワード、エクセル)ができる人
勤務日数 年間215日程度
勤務時間 月々金曜日午前9時〜午後2時45分(1日あたり5時間)(休憩有り)
賃金 時給850円
【⑦学校給食補助員】
職務内容 安全面・衛生面に配慮した給食の配膳など
募集人員 6人
勤務日数 給食のある日で年

間196日程度
勤務時間 月々金曜日午前10時30分〜午後2時30分(1日あたり3時間)(休憩有り)
※学校により時間変更有り
賃金 時給840円
【⑧学校図書館整理員】
職務内容 司書教諭および図書館担当教諭の実務補佐など
募集人員 6人
勤務日数 児童・生徒が登校する日で年間203日程度
※夏季休業中5日程度の勤務有り(1日あたり5時間)
勤務時間 月々金曜日で学校長の指定する時間(1日あたり3時間)
賃金 時給840円
【⑨学童バスの運転手】
職務内容 毛呂山小学校児童の送迎
募集人員 3人
応募資格 普通自動車免許所有者
※面接時に免許証を持参してください。
勤務日数 月々金曜日のうち、採用人数が2人の場合/週5日、3人の場合/週3〜4日
勤務時間 午後2時30分〜4

時30分

※学校行事などにより運行時間に変更があります。

賃金 時給930円

【⑤～⑨共通事項】

勤務期間 平成27年4月1日

(水)～9月30日(水)

選考方法 面接

【①・②】 平成27年1月16日(金)

までに、履歴書(写真貼付)

に希望職種を明記し、教育

委員会教育総務課 ☎ 内線

510、511へ提出

デイサービスセンター

臨時職員募集

【①介護職員】

職務内容 利用者の介護

応募資格 介護福祉士、介護職

員初任者研修修了者(ホームヘルパー2級以上)のい

ずれかの資格所有者、また

は資格取得見込み者(要普

通自動車免許)

勤務時間 月～土曜日(週3

～5日程度) 午前8時45分

～午後5時

賃金 時給900円～950

円(2年目以降920円～

970円、賞与有)

【②運転職員】

勤務内容 運転業務

応募資格 普通自動車免許を

有する人

勤務時間 月～土曜日(週3

日程度) 午前8時30分～10

時15分および、午後3時30

分～5時

賃金 時給1000円(賞与

有)

【①、②共通事項】

募集人員 若干名

勤務場所 デイサービスセン

ター(川角303-3)

採用予定日 平成27年1月中

旬(応相談)

【①・②】 12月25日(木)までに履

歴書(写真貼付)および資

格証明書の写しを社会福祉

協議会(ウイズもろやま内)

☎ 295-3111に提出

学校給食センター

臨時職員募集

職務内容 調理業務

募集人数 若干名

勤務日時 月～金曜日午前8

時45分～午後3時30分

勤務期間 平成27年3月まで

賃金 時給810円

勤務場所 学校給食センター

(目白台4-3-4)

【①・②】 12月16日(火)(必着)

までに履歴書(写真貼付)を

学校給食センター ☎ 294

12242へ提出(郵送可)

町営住宅入居者募集

募集団地 上宿団地(毛呂本

郷254-2)、杉ノ入団地

(滝ノ入237-1)

募集戸数 上宿団地1戸、杉

ノ入団地3戸

家賃 1万9300円から

受付期間 12月15日(月)～平成

27年1月19日(月)午前9時～

正午、午後1時～5時

※土・日曜日・祝日を除く。

※応募に必要な書類や、入居

資格などの詳細は、次にお問

い合わせください。

縁結びレインボーパーティー

～恋のかけはし～ in 鶴ヶ島

☎ 鶴ヶ島市役所秘書政策課政策担当 ☎ (271)1111

川越都市圏まちづくり協議会(通称:レインボー協議会)では、出会いを求める未婚の男女に、恋の橋渡しとなるよう交流パーティーを開催します。4回目となるこのパーティーは、カップル成立の確率が高く、これまで30組のカップルが誕生しています。今回は鶴ヶ島市で、工夫を凝らして開催します。素敵な恋を見つけ、楽しい時間が過ごせるよう、ふるってご参加ください。

日時 平成27年1月31日(土)
正午～午後5時(予定)

会場 鶴ヶ島市保健センター(鶴ヶ島市大字脚折1922番地10)(駐車場完備)

対象 25歳から45歳くらいまでの未婚の男女
※応募者多数の場合は抽選とし、レインボー協議会構成7市町(川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、毛呂山町、越生町)在住の人を優先します。

内容 グループによる簡単な調理、トークタイム(1対1)、フリータイム、カップリングなど

定員 男女各30人

参加費 3,000円(食材、軽食、飲み物代)

※アルコールの提供はありません。

※申込方法および、申込期限については、毛呂山町ホームページ(<http://www.town.moroyama.saitama.jp>)の「レインボーパーティー」のページをご覧ください。

【①・②】 役場管財課財産管理

係 ☎ 内線543

ご相談を

弁護士による

無料法律相談会

【①】 12月14日(日)午後1時30分

～7時30分(最終受付/午

後7時)

【②】 日高市民文化体育館「ひ

だかアリーナ」会議室1

相談内容 相続、借金、交通

事故など(予約不要)

【③】 田口法律事務所 ☎ 227

13177

総合相談センター

出張無料法律相談会

【①】 12月16日(火)、平成27年1

月14日(水)、2月7日(土)、3

月11日(水)午後1時30分～4

時30分

【②】 日高市民文化体育館「ひだ

かアリーナ」会議室1

相談方法 面談相談(1組1

時間)(要予約)

相談内容 相続、遺言、登記、

債務整理、成年後見など

【③】 総合相談センター ☎ 04

8-838-7472

主催・☎ 埼玉司法書士会 ☎

048-863-7861

ご参加を

滝ノ入『ゆず祭り』

毛呂山特産の里レインボーパークで、毎年恒例の「ゆず祭り」を行います。初冬のゆずの里を散策し、ぜひゆず祭りにお立ち寄りください。

日 12月13日(出午前9時〜午後3時)

※今年是不作のため、土曜日のみの開催です。

※商品が売り切れ次第終了となります。

場 滝ノ入集会所(滝ノ入295-2)

内容 箱入りゆず・冬至ゆず・手作りこんにゃく・ゆず製品・特産品の販売、けんちん汁の無料サービスなど

問 特産の里 ☎294-12089 秋馬

きちんと知って腸安心！ 大腸がん予防教室

大腸がんは、日本人に2番目に多いがんであり、女性のがん死亡原因の1位でもあります。しかし、早期の発見・治療が出来れば、95%以上の

人が完治しています。大腸がんについて知る事から、がん予防を始めましょう！

日 平成27年1月17日(出午後1時30分〜3時)

場 保健センター

内容 大腸がんの最新知識とその予防について

講師 石井利昌医師(埼玉医科大学国際医療センター)

持ち物 筆記用具

料 無料

申・問 12月8日(月)から保健センター ☎294-5511で受付

青少年相談員協議会 『冬のあそび会』

日 平成27年1月25日(日)午前11時〜午後4時

場 中央公民館調理室

問 町内在住の小学生

内容 お菓子の家づくり、レクリエーション

※軽食(サンドウィッチ)が出ます。食物アレルギーなどがある人は、申込みの際に明記してください。

持ち物 エプロン、三角巾、手拭タオル、上履き、保険証のコピー、参加費

料 500円

定 30人

※応募者多数のときは厳正に抽選します。

※兄弟や友だち同士で応募した場合でも、抽選の結果により一緒に参加できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

主催 青少年相談員協議会

日 12月22日(月)(必着)までに、官製はがきに①氏名(ふりがな)、②性別、③生年月日、④住所、⑤電話番号、⑥学校名、⑦学年、⑧保護者氏名を明記し、〒350-0493毛呂山町中央2-1毛呂山町役場生涯学習課学習支援係に郵送、または持参にて申込み

問 教育委員会生涯学習課学習支援係 ☎内線521

「血糖値が高くても症状がないから大丈夫」と思っていないから大丈夫と思いませんか？ 糖尿病は誰でもなりうる病気です。自覚症状がないうちに糖尿病予備軍になつてしまうこともあります。この教室で、生活改善のヒントを探しましょう！

「知って安心！糖尿病 予防の生活術」教室

「血糖値が高くても症状がないから大丈夫」と思っていないから大丈夫と思いませんか？ 糖尿病は誰でもなりうる病気です。自覚症状がないうちに糖尿病予備軍になつてしまうこともあります。この教室で、生活改善のヒントを探しましょう！

身体障害者補助犬「ほじょ犬」の 同伴にご理解ください

問 役場福祉課障害福祉係 ☎(295) 2112 内線 116

身体障害者補助犬、いわゆる「ほじょ犬」は目や耳、手足に障害のある人の生活をサポートする「盲導犬」、「聴導犬」、「介助犬」のことです。

「ほじょ犬」は、障害のある人のパートナーになれるように、特別な訓練を受けています。

社会のマナーも身に付け、体は常に清潔に保たれているので、交通機関や公共施設、デパート、レストランなどに入ることができます。

障害がある人が、「ほじょ犬」と一緒にこれらの施設に入るのは法律で守られた権利です。「犬だから」という理由で受け入れを拒否しないでください。



毛呂山町合併 60 周年記念ファミリーコンサート 音楽のおくりもの ～歌の花たば～

主催・問 ウィズもろやま ☎(295) 3111

日にち 平成27年2月22日(日)

会場 ウィズもろやまホール

出演 アンサンブル・ディヴェルターズ、司会・フルートノ一村誠也さん、ソプラノ/峰岸由佳さん

午前の部 わいわいコンサート(0歳から入場可)
10:00開場 10:30開演
乳幼児と一緒に、親子でコンサート

午後の部 アフタヌーンコンサート(4歳から入場可)
13:30開場 14:00開演
癒しのひととき、午後のコンサート

入場券 各500円(全席自由)

※チケットは、ウィズもろやま窓口で販売中です。

※3歳以下は無料ですが、座席を利用する場合はチケットが必要です。

日 平成27年1月28日(水)午前9時30分～正午
 ※血管年齢測定を希望する人は、午前8時45分～9時にお越しください。
場 保健センター
内容 「糖尿病とはどんな病気？」(保健師)、「糖尿病予防のかしこい食べ方」(管理栄養士)、「口から健康に。」(歯科衛生士)のチェック
対 40歳以上の人
定 先着30人
持ち物 筆記用具、歯ブラシ
料 無料
申・問 12月9日(火)から保健センター ☎294-5511で受付(電話可)

児童生徒美術展 および作品展開催

「平成26年度越生・毛呂山児童生徒美術展」、「越生・毛呂山特別支援学級児童生徒合同作品展」を開催します。

日 平成27年1月24日(土) 25日(日)午前9時～午後4時
場 越生中学校体育館

問 越生中学校 ☎292-3114、毛呂山小学校 ☎294-0009


子育て講演会
家族が支えたオリンピックへの道
 ～苦勞を力に変えた家族の力とは～

申・問 教育委員会生涯学習課学習支援係 ☎(295) 2112 内線 520、521

陸上短距離種目で活躍し、そのスピードとパワーが認められ、ボブスレー競技でソチ五輪日本代表に選ばれた佐藤さんは、スポーツの魅力と奥深さ、スポーツから得られるものについて研究している若き指導者です。
 ぜひ、ご家族でご参加ください。

日時 平成27年1月17日(土) 午後1時30分～(午後1時開場)
講師 佐藤真太郎さん (大東文化大学スポーツ・健康科学部講師)
会場 ウィズもろやまホール
入場料 無料
 ※無料保育有り(生後6か月～就学前)(要予約)
主催 子育て講演会実行委員会

ご寄附
ありがとうございました
 健康で安心して暮らせるまちづくりのための寄附として
 クラブエコルチャリティ
 ゴルフコンペ様
 ▷30万円



日 12月14日(日)午前9時～午後3時15分
場 大類グラウンド
内容 5団体によるそば打ち実演および販売
問 役場総務課自治振興係 ☎内線313

『合戦まつり』についてのお知らせ

12月14日(日)に予定していた「合戦まつり」は、「第3回毛呂山そばまつり」を除き、模擬合戦やコスプレコンテストなど、他のイベントにつきましては中止となりました。

問 毛呂山町合併60周年記念事業実行委員会事務局 (役場総務課自治振興係内) ☎(295) 2112 内線313

建物を新築・増築・取壊した人は 税務課までお知らせください

問 役場税務課資産税課税係 ☎(295) 2112 内線 191・192

■家屋調査について
 家屋を新築・増築すると、建築年の翌年度から課税されます。その評価額を算出するために家屋調査を行います。その際、屋根・外壁・天井・内壁・床・設備などの仕上げ部材を確認します。キッチンやトイレなども確認させていただきますので、あらかじめご了承ください。
 また、毛呂山町内全域を対象に、家屋の現況調査を随時行っています。この調査は、適正な固定資産税評価額を算出するためのもので、固定資産課税台帳の記載内容と現況が一致しているかを、現地ですべて確認するものです。調査へのご理解・ご協力をお願いいたします。

固定資産税や都市計画税は、毎年1月1日現在で存在する建物の所有者に課税されます。年内に次の①～③に該当する人、または家屋調査などを受けていない人は、役場税務課資産税課税係にご連絡をお願いします。

①新築・増築をした、または年内に新築・増築が完成予定
 ②建物の全部または一部を取り壊した
 ③火災・地震などの災害で、建物に大きく傷みが生じた

なお、建物の大きさに関わらず、物置・車庫などについても、固定資産税などの課税対象となるものがあります。
 ※東日本大震災で被災、または福島第一原子力発電所の居住困難区域にある家屋の所有者などが、その代わりとして毛呂山町内に家屋や土地を取得した場合、固定資産税などの特例に該当する可能性がありますので、お問い合わせください。

情報交換

出張肝臓病教室

「C型肝炎」という病気をご存知ですか？ きちんと「C型肝炎」を知り、やるべき事、やってはいけない事など、正しい知識を身につけましょう！ 医師、看護師、検査技師、薬剤師、栄養士などの専門家がわかりやすく解説します。

■／平成27年1月24日(出)午前10時～正午 場／毛呂山町保健センター 料／無料 申・場

■／埼玉医科大学病院肝臓病相談センター ☎276-2038

※保健センターへのお問い合わせはご遠慮ください。

『美術協会特別展』

第3回毛呂山美術協会特別展(絵画・書道・写真・彫刻・工芸・かざり絵)を開催します。

■／12月2日(火)～7日(日)午前10時～午後5時(7日(日)は午後3時まで) 場／図書館2階ギャラリー(読書室) 料／無料 申 ☎294-6529 古賀

埼玉平成中・高『小学生のための書き初め講座』

■／12月6日(出)、13日(出)、20日(出)午後2時～4時(全3回) 場／埼玉平成中学校2階書道室 内容／初歩的な書き初め、書き初め展に向けての学習

■／小学生 料／先着15人 料／1000円(用紙、墨汁、テキスト代として) 申・場

■／12月5日(出)までに埼玉平成中学・高等学校(中高一貫コース) ☎294-8080へ申込み

埼玉医科大学室内楽部第16回定期演奏会

■／12月21日(日)午後1時30分開場、2時開演 場／埼玉医科大学日高キャンパス創立30周年記念講堂大ホール(無料駐車場有り) 料／無料 申

■／埼玉医科大学室内楽部定期演奏会実行委員長 ☎090-2496-6434 小林

※未就学児の入場も可能です。

引きこもり・不登校講演会

■／平成27年1月12日(出)午後1時30分～3時30分(1時受付開始) 場／ウィズもろや

『第13回毛呂山写真愛好者作品展』

町内在住・在勤者などの写真愛好者が一同に会し、親睦と写真技術の向上を目的として、写真展を開催します。

風景・花・野鳥・祭りなど、幅広いジャンルの作品100点を展示します。ぜひ見に来てください。

■／平成27年1月16日(出)～18日(出)午前9時～午後5時(18日(日)は午後4時まで) 場／東公民館ギャラリー 主催／毛呂山写真愛好者作品展実行委員会 申 ☎294-5121 大谷木

録北湖オープン卓球大会

■／平成27年1月31日(出)、2月1日(日)午前8時30分開

地域歳末たすけあい募金運動

～みんなでささえあうあったかい地域づくり～

■ 埼玉県共同募金会毛呂山町支会(ウィズもろやま内)
☎(295) 3111、 申(295) 7258

実施期間 12月1日(月)～31日(水)

平成26年度町目標額 2,244,000円

「地域歳末たすけあい募金運動」は、地域住民の協力のもと、新年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、福祉にかかる支援活動を重点的に展開するものです。

毛呂山町でも、皆さんからお寄せいただいた募金(寄付金)で、歳末援護事業、歳末福祉サービス事業(おせち料理宅配)などを実施します。募金方法には、各家庭や行政区でご協力いただく戸別募金と、直接お寄せいただく一般募金、指定寄付があり、個人や法人による大口の寄付は税法上の優遇措置が受けられます。なお、集まった募金は配分委員会で配分方法、金額、配分先を協議し、毛呂山町社会福祉協議会が町内の支援事業に配分します。運動の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけるようお願いいたします。

平成25年度募金総額は2,027,045円でした。ご協力ありがとうございました。

住宅用火災警報器の設置推進について

■ 西入間広域消防組合消防本部予防課
☎(295)0119

西入間広域消防組合では、住宅用火災警報器の設置を啓発するため、平成26年8月に第2回目の住宅用火災警報器設置推進モデル地区を指定しました。また、住宅用火災警報器設置啓発等推進員を委嘱し、推進員の皆さんとともに推進活動を実施し、地域の皆さんが安心して暮らせる町を目指しています。

まだ火災警報器の設置がお済みでないご家庭は、ご理解とご協力をいただき、早めの設置をお願いします。

『ゆずの里商店街』 歳末福引き抽選会

特賞 テーマパーク入場券(ペア)

- 1等 5,000円の加盟店商品券
 - 2等 新米10kg
 - 3等 豪華賞品
- ※空くじなし

日時 12月23日(祝)
午前9時～午後3時
場所 毛呂本郷いちよう広場
(日野屋酒店横の駐車場)

福引補助券配布期間
12月1日(月)～20日(土)
※商店街加盟店で対象商品を500円お買い上げごとに福引補助券を1枚進呈、補助券2枚で1回福引きができます。

☎ ゆずの里商店街 ☎(294)0018岡部

場、9時開会式 園/総合公園体育館 種目/男女各シングルス(予選リーグを実施)
①中学生以下の部、②一般、50歳以上60歳未満の部、60歳以上70歳未満の部、70歳以上の部(種目は、参加人数により変更になる場合があります。また、中学生以下の部の参加者は、一般の部にも参加できますが、参加費は2種目分必要です) **参加資格**/審判ができる人 **ルール**/11本5ゲームマッチ(白球40mm使用)
☎/1月10日(出)(必着)までに、申込用紙または白紙に「種目、チーム名、出場者氏名、電話番号」を記入し、〒350-

0465岩井西1-17-6松田まで郵送で申込み(申込用紙は所属チームごとに作成し、1つの種目に2人以上参加する場合はフランク順に記入) **申し込み**と同時に、一種目につき700円をゆうちょ銀行、店番019、当座0110-9-547341毛呂山町卓球連盟(モロヤママチャタッキウレンメイ)へお振り込みください **その他**/ゼッケンを着用してください。棄権者の参加費は返還しません。当日における出場者の変更、当日参加は不可とします。☎/毛呂山町卓球連盟 ☎295-0624松田

弓道連盟会員募集

弓道に興味のある人、老若男女、経験者、初心者をお待ちしています。ぜひ一度、道場見学にお越しください。皆さんの来場をお待ちしています。
☎/月曜日を除く毎日午前9時～午後5時ごろ 園/ウイズもろやま脇弓道場 岡/町内に在住、在勤、在学の高校生以上の人 ☎/☎294-5529北村

毛呂山町介護予防サポーター養成講座

☎ 役場高齢者支援課高齢者福祉係 ☎(295)2112内線156

地域の高齢者を対象とした介護予防教室など、介護予防に役立つ情報の提供や、体操の指導・サポートを行うボランティアを養成するための講座です。あなたの力を地域の健康づくりのために活かしませんか。

日にち(全8回)	時間	内容	
1月15日(木)	9:30 }	開講式、オリエンテーション、事業説明、介護予防の必要性と効果	
1月22日(木)		介護予防の効果、準備運動・体力測定	
2月5日(木)		実技・講義	
2月12日(木)		実技・講義、グループワーク	
2月26日(木)		11:30	実技・講義、地域で活動するために
3月5日(木)		実技・講義、グループワーク	
3月12日(木)		実技・講義、体力測定	
3月19日(木)		実技・講義、閉講式	

対象 40歳以上で介護予防に関心があり、講座終了後、地域で積極的に介護予防体操の指導などの活動ができる人

定員 30人(申込み多数の場合は、抽選)

会場 東公民館

費用 300円(ボランティア保険代として6回目に集金)

申込み 12月8日(月)から役場1階高齢者支援課高齢者福祉係で受付(電話不可)

※申込書は高齢者支援課窓口、または町ホームページ(☎ http://www.town.moroyama.saitama.jp)からダウンロードできます。

その他 養成講座終了後、毛呂山町介護予防ボランティア「ゆずフィット」で活動していただきます。全日程に参加し「ゆずフィット」として活動していただける人には、「ゆずフィット会員証」を交付します。

「2つの給付金」申請受付中

子育て世帯臨時特例給付金

申請期間 12月12日(金)まで

☎ 役場子ども課児童係

☎(295)2112内線113、114

臨時福祉給付金

申請期間 平成27年1月7日(水)まで

☎ 役場福祉課地域福祉係

☎(295)2112内線111、112

※申請期間を過ぎると給付が受けられませんのでご注意ください。なお、対象者には事前
に通知しています。

拉致問題を考える週間

12月10日(水)～16日(火)は、「拉致問題を考える週間」です。

北朝鮮による拉致問題の解決には、「拉致は許さない」という町民一人ひとりの声が必要となります。この週間を機に拉致問題への意識を高めてください。

国民健康保険に加入している人の
高額医療費の自己負担額が変わります

国民健康保険に加入している人が、一つの医療機関で同じ月に支払った医療費が自己負担の限度額を超えたとき、超過分が「高額療養費」として支給されます。

平成27年1月から、70歳未満の人の自己負担限度額に、所得区分が設けられます。現在、限度額適用認定証(標準負担額減額認定証)を持ち、平成27年1月以降も引き続き認定証が必要な70歳未満の人は、改めて申請手続きを行ってください。

※住民税非課税世帯の人も、認定証の表記が変わるため、手続きが必要です。

※70歳以上75歳未満の人は、手続きは必要ありません。

持ち物 認定証をお持ちの人は限度額認定証、新たに申請する人は国民健康保険被保険者証

問 役場住民課国保年金係

☎ 295-2112 内線 127・128

【平成26年12月までの自己負担額】

所得区分	総所得金額など	3回目まで	4回目まで
上位所得者	600万円以上	150,000円 +(医療費-500,000円)×1%	83,400円
上位所有者以外の 住民税課税世帯	600万円以下	80,100円 +(医療費-267,000円)×1%	44,400円



【平成27年1月からの自己負担額】

所得区分	総所得金額など	3回目まで	4回目まで
上位所得者	901万円を超える	252,600円 +(医療費-842,000円)×1%	140,100円
	600万円を超え 901万円以下	167,400円 +(医療費-558,000円)×1%	93,000円
上位所有者以外の 住民税課税世帯	210万円を超え 600万円以下	80,100円 +(医療費-267,000円)×1%	44,400円
	210万円以下	57,600円	44,400円

高額医療・高額介護合算療養費制度について

期間内に同一世帯内で医療保険と、介護保険の自己負担分の両方を負担し、その合計が下記の限度額を超えたときは、申請をすると限度額を超えた分が「高額介護合算療養費」として支給されます。

ただし、同一世帯内であっても、計算は対象年度の末日(7月31日)に加入している保険(国民健康保険、後期高齢者医療制度、被用者保険など)に行うのでご注意ください。

なお、国民健康保険被保険者、または後期高齢者医療制度被保険者で、期間内に継続して同じ保険に加入していた人には、後日通知します。

問 役場住民課国保年金係

☎ 295-2112 内線 127・128、役場高齢者支援課高齢者医療係 ☎ 内線 125、介護保険係 ☎ 内線 122

計算期間 平成25年8月1日～平成26年7月31日の1年間

申請場所 役場住民課国保年金係、または役場高齢者支援課高齢者医療係

自己負担限度額

所得区分	後期高齢者医療制度 +介護保険(75歳以上)	被用者保険または国民健康保険+介護保険	
		(70歳以上75歳未満)	(70歳未満がいる世帯)
現役並み所得者 (上位所得者)	67万円	67万円	126万円
一般	56万円	56万円	67万円
低所得者	II	31万円	34万円
	I	19万円	34万円

※限度額の超過分が500円未満の場合は支給されません。

公共施設 年末年始の業務案内

◆年末年始の業務日一覧◆ □ = 営業日 ■ = 休業日

施設名	12月						1月					問合せ
	26日 (金)	27日 (土)	28日 (日)	29日 (月)	30日 (火)	31日 (水)	1日 (木)	2日 (金)	3日 (土)	4日 (日)	5日 (月)	
毛呂山町役場	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(295)2112
児童館	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(295)4111
ウィズもろやま	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(295)3111
老人福祉センター山根荘	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(294)5545
保健センター	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(294)5511
総合公園	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(294)7101
中央公民館	■	※	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(294)1250
東公民館	■	※	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(295)2277
図書館	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(295)1015
歴史民俗資料館	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(295)8282
教育センター	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(295)0622
デイサービスセンター	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(276)7977
毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(294)9333
高倉クリーンセンター	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(271)1500
川角リサイクルプラザ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(294)4115
広域静苑組合越生斎場	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(292)5955
坂戸地区衛生組合	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	☎(283)3561

※中央公民館、東公民館は、最終営業日の12月27日(土)は午後5時で閉館します。

◆組合からのお知らせ◆

埼玉西部環境保全組合

(高倉クリーンセンター、川角リサイクルプラザ)

年末の最終受付日時は12月30日(火)8:30~11:45、
13:00~16:30です。

※ごみの搬入受付については、収集車両を優先します。

※12月29日(月)、30日(火)は、地区により臨時収集日が
設けられている場合がありますので、お手持ちのごみ・資源
収集カレンダーをご確認ください。

☎ 高倉クリーンセンター(鶴ヶ島市高倉593-4)☎(271)
1500、川角リサイクルプラザ☎(294)4115

坂戸地区衛生組合

年末の業務最終日時は12月29日(月)8:45~
12:15、12:45~16:40です。

☎ 坂戸地区衛生組合(坂戸市上吉田651-1)

☎(283)3561

広域静苑組合越生斎場

火葬の予約受付は、年中無休で行っています
(受付時間8:30~17:00)。

☎ 広域静苑組合越生斎場(越生町鹿下338-6)

☎(292)5955

◎休業中のお問い合わせや戸籍などの届け出は、毛呂山町役場 ☎(295)2112で受け付けています。

子ども広場

子どもや親子で参加できるイベント、子育て支援情報、健康診断などをご案内します！

図書館 ☎(295)1015 12月の休館日：毎週月曜日、および年末年始(→P23)

名称	日程	時間	対象	内容
子ども映画会 「長ぐつをはいたネコ」	12月13日(土)	14:00 ～15:30		内容/捨て猫だったプスはある日、兄弟分を助けようとして無実の罪をさせられる。お尋ね者となったプスは故郷を追われることになり…。「シュレック」シリーズの人気者・プスが主役となって活躍する冒険物語 場/2階視聴覚室 定/先着50人
おおきなポッケ	平成27年 1月6日(火)	11:00 ～11:30	2～3歳	内容/絵本の読み聞かせ、手あそび、紙芝居など 場/1階おはなしコーナー
おはなしポッケ	12月9日(火) 12月23日(祝)	11:00 ～11:30	0～3歳	内容/わらべうた、手あそび、絵本の読み聞かせなど 場/1階おはなしコーナー ※小さなお子さんのためのおはなし会です。
クリスマス 子どものつどい	12月14日(日)	10:00 ～12:00	小学生以下 ※小さな子どもは保護者同伴	内容/人形劇団オッペによる人形劇など 場/2階視聴覚室 定/先着80人 申/図書館で受付中(電話可)
おはなしのクレヨン クリスマスおはなし会	12月27日(土)	14:00 ～14:30	3歳～小学生 大人もどうぞ!	内容/「みんなでツリーにかざろう」ほか 場/2階視聴覚室

児童館 ☎(295)4111 12月の休館日：毎週日・月曜日、祝日、13日(土)、および年末年始(→P23)

名称	日程	時間	対象	内容
遊びにおいでよ! ぴよんぴよん広場	12月3日(水)	10:30 ～11:30	2歳前後の幼児と保護者	内容/体操、工作、体育あそびなど(申込み不要) 持ち物/親子とも室内シューズ
ワイワイ・ドキドキ お楽しみパーティー	12月25日(木)	10:00 ～12:00	小学生 ※1～2年生は保護者同伴	内容/たこ焼き、ビンゴゲームで賞品ゲット!など 料/1人200円 定/先着20人 申/12月5日(金)～19日(金)に参加費を添えて児童館へ申込み ※お釣りのないようにご協力ください。
幼児クラブ 火曜コース	1月27日 ～3月10日 (全7回)	10:00 ～11:30	3・4歳児 (H22.4.2～ H24.4.1生) と母親 ※対象外の方はご相談ください。	内容/体操、工作、体育あそび、ひなまつりおたのしみ会など 定/各15組。なるべく全日程参加できる人。※参加者が少ない場合、どちらかのコースに変更、または中止になる場合があります。 申/1月8日(木)午前9時から児童館で受付(電話可) ※家族の人がお申し込みください。
幼児クラブ 木曜コース	1月29日 ～3月12日 (全7回)			

※12月13日(土)は、衆議院議員総選挙に伴う投票所の準備のため臨時休館となります。また、11月1日号「12月のカレンダー」に掲載した「凧作り」は中止いたします。

保健センター ☎(294)5511

名称	日程	時間	対象	内容
4か月児健診	1月7日(水)	13:30から	H26.8生	※対象者には事前に通知します。
10か月児健診	1月8日(木)		H26.2生	
1歳6か月児健診	1月19日(月)		H25.6生	
3歳児健診	1月20日(火)		H23.7生	
2歳児歯科健診	1月29日(木)	午前	H24.6～7生	歯と栄養のお話し、歯科検診、歯みがき指導、フッ素塗布(希望者のみ)、栄養指導相談(希望者)

ぼくらの キャンパス

No.390 川角小学校



「140年の校舎」
せんだん



1年 平賀 拓海くん



「大きなゴリラとりゅうがいの川かど小がっこう」



6年 白石 結唯さん



2年 吉田 良萌さん



「うちゅうバスで
レッツゴー」

保健センターだより

保健センター ☎(294)5511

個別健康診査 (受診回数/1年に1回)

実施月 1月

期 12月4日(木)~15日(月)

対 後期高齢者医療制度の加入者(平成26年9月未までに加入している人)

内容 問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、医師の診察など

料 500円

定 先着35人

手順 ①保健センターに電話で申し込み、郵送で受診券を受取る ②医療機関を選び、予約をして受診
※受診当日は、保健センターから届いたすべての書類を医療機関へご持参ください。

場 次のなかから1か所を選択

埼玉医科大学病院健康管理センター、長瀬クリニック、根岸内科医院、初野医院、毛呂病院、ゆずの木台クリニック、市川医院、越生メディカルクリニック、かあいファミリークリニック

■ 1月の在宅当番医(午前9時~正午)

日にち	医療機関名	専科	住所	電話
1/1(祝)	ゆずの木台クリニック	内科・小児科・眼科	中央 2-5-5	295-5158
1/2(金)	石川眼科	眼科	越生町越生東 2-7-3	277-2077
1/3(土)	はなみず木整形外科	整形外科	越生町如意 102-9	292-8003
1/12(祝)	根岸内科医院	内科	下川原 171	295-3959

※埼玉医科大学病院(毛呂本郷38 ☎276-1465)は、救急部が日曜・祝日を問わず、救急患者を受け入れています。

● **乳がん・子宮頸がん検診** (受診回数/2年度に1回)

● **日** 平成27年1月14日(水)午後

● **対** 乳がん/40歳以上、子宮頸がん/20歳以上

● **料** 乳がん/600円、子宮頸がん/500円

● ※クーポン券がある人は無料です。

● ※お子さんの保育あり。

● **定** 先着50人

● **期** 12月5日(金)から受付

◆生活保護受給世帯の人は無料で検診を受けることができます。申込み時にお申し出のうえ、当日は、必ず印鑑と受給者証をご持参ください。

● **献血にご協力ください!**

● **日** 12月12日(金)

● 午前10時~11時45分、午後1時~4時

● **場** 役場来客用駐車場



1月の行事カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
施設のお休みマーク ④ 図書館 ⑤ 歴史民俗資料館 ⑥ 児童館 ⑦ 町内体育施設 (総合公園体育館・グラウンド、大類グラウンド・ソフトボールパーク、川角公園、西戸・川角・岩井・目白台の各グラウンド、弓道場) 場=場所				1 元旦 ④ ⑤ ⑥ ⑦	2 ④ ⑤ ⑥ ⑦	3 ④ ⑤ ⑥ ⑦
4 ④ ⑤ ⑥ ⑦	5 ⑤ ⑥ ⑦ ・官公庁仕事始め	6 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・2月分体育施設調整会議 場 総合公園 ・おおきなポッケ 場 図書館	7 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・小中学校授業開始 ・入間西障害者支援センター出張相談会 場 役場→P26	8 ④ ⑤ ⑥ ⑦	9 ④ ⑤ ⑥ ⑦	10 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・トレーニング機器説明会 場 総合公園 ・かるた遊び 場 児童館 ・子ども映画会 場 図書館
11 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・2月分総合公園予約日 場 総合公園 ・成人のつどい 場 両公民館 ・消防団出初式 場 総合公園	12 成人の日 ④ ⑤ ⑥ ⑦	13 ④ ⑤ ⑥ ⑦	14 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・びよんびよん広場 場 児童館	15 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・介護予防サポーター養成講座 場 東公民館→P21	16 ④ ⑤ ⑥ ⑦	17 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・大腸がん予防教室 場 保健センター→P18 ・子育て講演会 場 ウィズもろやま→P19 ・父親クラブ 場 児童館
18 ④ ⑤ ⑥ ⑦	19 ④ ⑤ ⑥ ⑦	20 ④ ⑤ ⑥ ⑦	21 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・びよんびよん広場 場 児童館	22 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・介護予防サポーター養成講座 場 東公民館→P21	23 ④ ⑤ ⑥ ⑦	24 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・おはなし会 場 図書館 ・児童生徒美術展・作品展 場 越生中学校→P19
25 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・休日納税相談・納入窓口 場 役場 ・冬のあそび会 場 中央公民館→P18 ・児童生徒美術展・作品展 場 越生中学校→P19	26 ④ ⑤ ⑥ ⑦	27 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・おはなしポッケ 場 図書館 ・幼児クラブ火曜コース 場 児童館	28 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・糖尿病予防生活術教室 場 保健センター→P18	29 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・幼児クラブ木曜コース 場 児童館	30 ④ ⑤ ⑥ ⑦	31 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・レインボーパーティー 場 鶴ヶ島市保健センター→P17

1月の相談コーナー

法律相談

土地家屋、交通事故、金銭貸借や補償、相続などの相談

【弁護士】(要予約)

☑ 1月9日(金)、26日(月) 13:30~16:00

※都合により変更になる場合があります。

【行政書士】

☑ 1月21日(水) 10:00~15:00

場 役場会議室

☎ 役場総務課自治振興係 ☎295(2112)内線313

人権・行政相談

人権問題、行政に関する苦情などの相談

☑ 1月8日(木) 13:30~16:00

場 役場会議室

☎ 役場総務課自治振興係 ☎295(2112)内線313

成人健康相談

心と体についての健康相談

☑ 1月 9日(金) 9:00~12:00 場 保健センター

☑ 1月19日(月) 9:30~11:30 場 役場町民ホール

電話相談

☑ 月~金曜日(祝日を除く) 9:00~17:00

☎ 保健センター ☎(294)5511

心配ごと相談

生活上の悩み、困りごとなどの相談

☑ 毎週水曜日 10:00~12:00

場 ウィズもろやま(福祉会館)

☎ 社会福祉協議会 ☎(295)3111

消費生活相談

消費生活コンサルタントによる相談や情報提供

☑ 毎週火曜日 10:00~15:00

場 役場相談室

☎ 役場産業振興課商工観光係 ☎(295)2112内線171

教育相談

不登校、いじめ、しつけなど教育に関する相談

☑ 月~金曜日(祝日を除く) 10:00~16:30

場 教育センター ☎(295)2525※電話相談可

入間西障害者相談支援センター出張相談会

生活上の諸問題などについての相談

☑ 1月7日(水) 10:00~12:00

場 役場相談室

☎ 障害(身体・知的・精神)のある人やその家族

☎ 役場福祉課障害福祉係 ☎内線117、☎(295)2126



役場からのお知らせ

■毎週水曜日は、税務課・住民課・子ども課・高齢者支援課・福祉課・水道課で、午後7時まで窓口業務を行っています。

■広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館、町内各駅などに置いてあります。

■ウェブサイト用 QRコード



町税・保険料 12月の納期

町県民税	4期
国民健康保険税	6期
介護保険料	7期
後期高齢者医療保険料	6期

(12月25日納期限)

納期限内に忘れずに納めましょう。

人の動き

人口	35,374人 (-44人)
男	17,660人 (-7人)
女	17,714人 (-37人)
世帯	15,794戸 (-2戸)

※平成26年11月1日現在
※(カッコ)内は前月比

図書館

今月のオススメの一冊!

『急行「北極号」』


C・V・オールズバーク/文・絵
村上春樹/訳 あすなろ書房/出版

「サンタクロースを待つ主人公のもとに急行「北極号」がやってきます。アニメ映画をご覧になった人もいるかと思いますが、原作となったこの絵本の中で、主人公と一緒にサンタの国と列車の旅を楽しんでみてはいかがでしょうか?」



編集後記

今回、特集記事を作成するにあたり、たいへん多くの人にお世話になり、本当にたくさんのことを学ぶことができました。同時に広報紙のもつ役割や影響などを見つめ直すきっかけになったと思います。(1)



もろ丸くんと いっしょ!

お便りコーナー

ゆるキャラグランプリ2014の結果は、173位だったよ。応援してくれたみんな、本当にありがとう! これからも頑張って毛呂山町をPRしていくからよろしくね☆

・もろ丸くんは、ちがう色の『洋服』は着ますか? 恋人はいますか? これからもガンバってください!
(西大又保S・Sちゃん)

Sちゃん、お手紙ありがとう! ほくはいつも流鏝馬の衣装を着ているよ。この衣装には、毛呂山町を代表する「ゆず」や「菊」がデザインされていて、全身で毛呂山町をPRしているんだ。この衣装じゃないとボクらしくないよね! それと、恋人は「ヒミツ」だけど、うめりんやはーとんとはとっても仲良しなんだよ!

ここでは、ほくや役場への郵便、メール、ファクスなどで送ってね。図書館と児童館には専用のポストがあるんだよ! お返事はこのコーナーですからね!

あて先 〒350-0493 毛呂山町中央2-1 毛呂山町役場秘書広報課広報広聴係 ☎295-2112 内線3321 FAX295-0771、📧 hisyo@townmoro.yama.satama.jp

山根荘趣味の会等定例行事

12月の休館日	6日 7日 13日 14日 20日 21日 23日 26日 27日 28日 29日 30日 31日	三味線・民謡の会 手芸の会	4日 18日 10日 24日
ペタンク	15日	カラオケ同好会	1日 15日
声を出す会	3日 17日	吟友会	10日 24日
民謡同好会	8日 22日	書道の会	10日 24日
俳句の会	12日【季語 年の内(としのうち)、日向ぼこ(ひなたぼこ)】	舞わかば会 FDカトリア	10日 24日 12日
囲碁・将棋の会	3日 5日 10日 12日 17日 19日 24日	健康体操(役場主催) 押し花の会	19日 1日 8日
お茶の会	5日 19日	桜扇の会	8日 22日
茜会(お花)	8日 22日	PCクラブ	1日 15日
ダンス同好会	5日 19日	光華の会	3日 17日

※行事日程などについては、都合により変更する場合があります。
※上記の趣味の会に入会を希望する人は、下記までご連絡ください。
☎ 老人福祉センター山根荘 ☎(294)5545

ほしいもの! あげたいもの!

●ゆずりたい物

・毛呂山中学校男子夏冬制服(180A、W73)(中古・相談)・赤ちゃん用紙オムツ(男子用、男女共用)(Lサイズ・ビッグサイズ)(パンツタイプ)(無料)

●ゆずってほしい物

・編み機(相談)・MDプレーヤーまたはMDコンボ(中古・相談)・工業用ミシン(中古・相談)・洗濯機(2槽式または全自動)(中古・相談)

紹介したい品物がありましたら、お気軽にお申し込みください。また、交渉が成立した場合には、必ずご連絡ください。

掲載期間 3か月

☎・☎ 役場産業振興課商工観光係 ☎(295)2112内線175



「秋色に染めて」 中川 弘子さん(平山)

毛呂山町で本格的に紅葉を見られるのは、11月下旬～12月上旬。西部地区から広がってきたグラデーションが、川角地区まで下りてくるのは丁度今の時期でしょうか。銀杏の葉が画面いっぱいに広がり、まばゆい黄金色を写した輝やかな秋の1枚です。

(撮影地 川角)

—— 徒然歳時記 ——

イルミネーション



街を賑わすイルミネーション。震災以降自粛傾向にあったようですが、省エネルギーなLED電球の普及などもあり、また街角で度々目にするようになりました。



その起源は古く、16世紀に、宗教革命で知られるルターが、森の中で見た星の美しさを再現するため、木々に蠟燭ろうそくを飾り付けたのが起こりと言われていています。日本では、同じく16世紀に織田信長が盂蘭盆会うらぼんえで安土城を無数の提灯で照らしたことがイルミネーションの元祖という人もいます。形や意味は時代によって違いますが、いつの時代も夜を彩る明かりたちは、私たちの心に感動や安らぎをもたらすようです。

わがやのアイドル



たかえす みな 高江洲 美那ちゃん(11か月)

元気いっぱいの小悪魔ちゃん。イタズラしても笑顔でカバー!! モフモフしている物が大好き。

♥「わがやのアイドル」募集中!
  役場秘書広報課広報広聴係 ☎内線332